



Vol. 14
ZOOM UP 岐阜

野溝 明弘さん

中津川

中津川共立クリニック 事務長・看護部長



学生時代からメカの造作が好きで、単車のエンジンを組み立ててはプロを驚かせたほどの腕前をもつ野溝さん。その恵まれた才能を活かして、偕行会で25年、野溝さんはASOのフォローアップ、API検査指標、透析評価表の開発など、今では当たり前でも、当時は誰も気づかないところに一早く着目し、多くのシステムを開発されてきました。人呼んで“偕行会の発明王”です。

「偕行会に入ったとき、『真に患者様のためを考えた総合的な医療・スタッフがやりがいを持てる現場づくり』という川原理事長の理念にとても共感しました。以来、患者様により快適に透析を受けていただくにはどうしたら良いかを考えつづけたことが、様々なシステムを生み出す結果になったのです。また、その情報をもとに全施設のスタッフとの知識交流も重点的にすすめてきました。優秀なスタッフ育成は結果的に患者様のためになることですから。」

「今年中津川共立クリニックでは、増え続ける患者様に対応して増床を行いました。そのため事務室やナースステーションが狭くなりましたが、スタッフもすすんで協力してくれました。患者様が喜ぶ顔を少しでも見ることができれば、それが私たちの仕事にはりあいを与え、プライドにもなるのだと思います。」



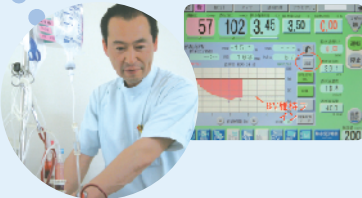
増床して広くなった透析室



「これからも“スタッフが生き生きとして最高の透析治療を行い、患者様に快適に過ごしていただけるクリニック”を実践つづけていきます。透析に役立つ情報やシステムを、この中津川から全施設に発信できるようにしていきたいですね。」

日本初の除水プログラム完成間近!

現在、開発中の新しい除水制御プログラムが夏までに完成します。これが完成すれば、除水に要する時間を短縮できたり、透析後が今よりずっと楽になるかもしれません。



Vol. 15
ZOOM UP 愛知

馬場 美香さん

名古屋

セントラルクリニック副院長



★ Let's En女医! ★

祖父の影響で医師になったという馬場美香さん、腎臓内科に興味があり、透析に進みました。中部労災病院の腎臓内科に7年、その他の病院をへて、セントラルクリニックは3年目です。同クリニック森田院長の片腕として院長のアドバイスを受けながら、副院長としての多忙な毎日を送っていらっしゃいます。

「生まれは神戸です。祖父は貿易をやっていて消毒薬も扱うことがありました。親戚には医師がおりましたが、自分としての進路はまだ未定だったんです。高校生の時です。母が、何気なくですが、ぼつりと『そういえば死んだおじいちゃんが、だれか医師になってくれないかな…』とっていたわ』と。何か惹かれるものがあつたのでしょうか、その後医師の道を志しました。」

「大切なのはコミュニケーション。そして、医療上難しい選択を迫られたときは、『もしこれが自分の家族だったらどうだろうか?』という考えに立ち、医師の知識と合わせて正直な判断を下したいと思っています。信用もまた大事なことだと思います。」



季節ごとの手づくりした作品が、飾られているロビー



好きなことはアロマテラピーです。



「今アロマテラピーの勉強を始めていますよ。小学生の頃から、香り消しゴムの甘い香りをかいたりするのが大好きな子どもでした。昔から香りに興味があり、良い香りに包まれてのフットケア(足マッサージ)は、患者様の癒しと快適さをよりアップすると思いますね。単なるブームとしてではなく、医療とアロマテラピーの融合を目指したいと思います。」

ラベンダー畑が果てしなく広がり陽光豊かな「南仏プロバンス」は、アロマテラピーでも有名です。先生の憧れの地だそうです。ご縁があったのでしょうか、そういえばお名前に「香り」の字が入っていますね。